持続可能な社会を考える SDGs 講座

教科・分野[その他]　学年[小中学生]　授業時間[45 分～150 分]

実施場所[各学校]

内容

（１）ねらい

SDGs　for school 認定エデュケーターが SDGs の「伝え手」として、持続可能な社会創世について、授業スタイルの講座や体験型ワークショップを行います。

（２）授業内容（プログラム例）

①SDGs 基礎講座：学校の要望・時間に合わせて授業を行います。

・「持続可能な世界」とは？

・ミニワーク例）17 のゴールを自分たちの言葉で表現してみよう

17 のゴールを大切だと思う順番に並べてみよう

・私たちの生活ってあたりまえなの？

②SDGs 新聞ワークショップ：朝日新聞の「SDGs 新聞」を用いて、グループで記事について考えます。

⇒中学生向け

③連鎖を考えるワークショップ：あるテーマについて、どのような良い影響・悪い影響が生じるか考えます。

⇒内容が若干難しい可能性があります。（例）道路工事を行う場合の影響

※①②は一般社団法人シンクジアース及び朝日新聞社の提供プログラムです。

※時間設定やその他オリジナルの内容などについては柔軟に対応します。

※教職員、保護者向けプログラムも可能です。

備考

・ワークショップ型の講座を行うため、１クラス単位が望ましいです。（人数多数の場合は講演形式）
・１か月前までを目安にお申込みください。申込み後、学校と講座内容の調整をします。
・学校で用意するもの：ディスプレイ等、ノートパソコン（プレゼン用）

団体紹介

常盤工業株式会社

2021 年に 70 周年を迎える総合建設会社です。社是に「自利 利他」を掲げ、積極的に社会貢献活動も行っています。

住所：〒430-0911　浜松市中区新津町 197　　［https://www.tokiwak.co.jp/］

＜講師紹介＞

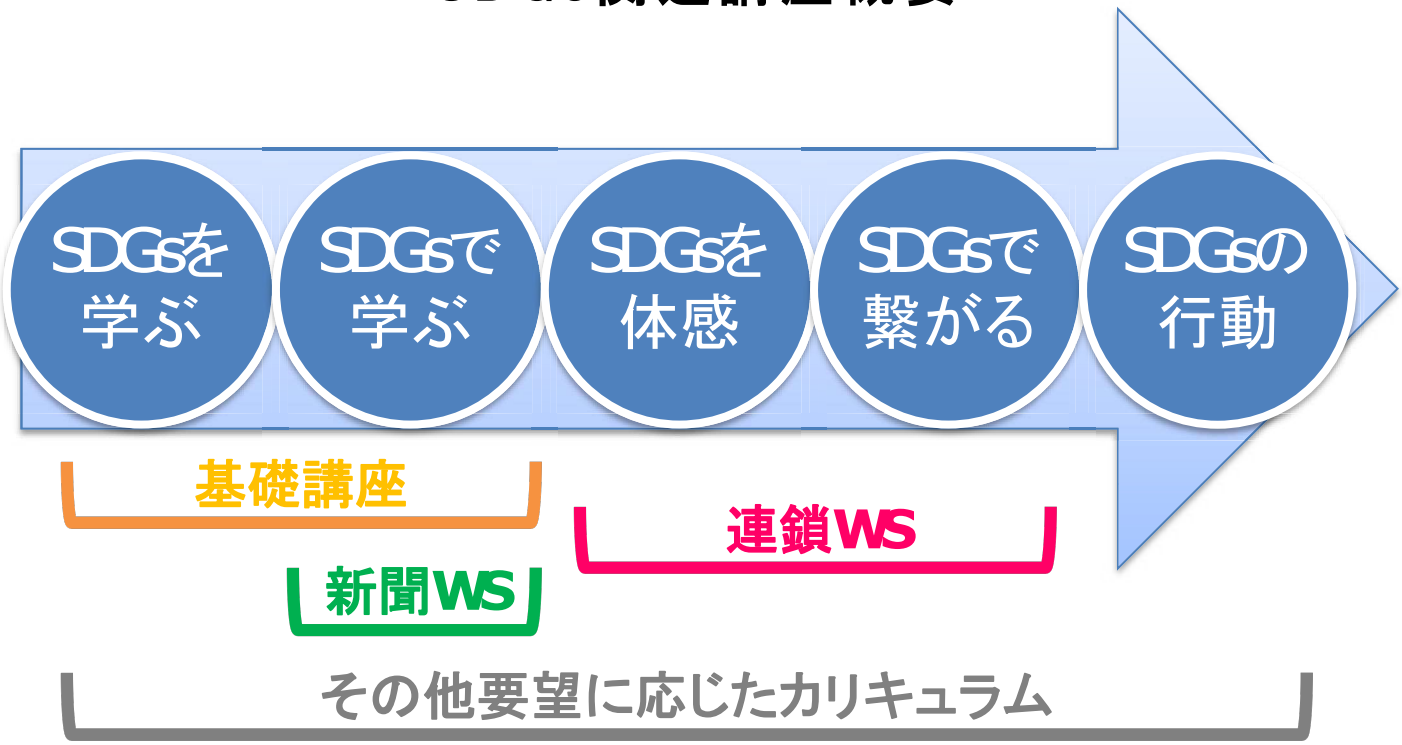
SDGs for school 認定エデュケーター　高橋 脩夫

早稲田大学社会科学部卒業、メーカー、商社勤務を経て常盤工業へ入社。社長室所属。浜松市内の SDGs、CSR 関連イベントへの登壇、浜松学院大学ゲスト講師、未来授業講師など。

※SDGs for school の活動については以下リンクを参照下さい。
［http://www.thinktheearth.net/sdgs/］

お問い合わせは
浜松市教育委員会教育総務課まで　電話　０５３－４５７－２４０１

SDGs関連講座概要



【SDGs基礎講座】
SDGｓに関する基本解説、成り立ち、社会情勢などを説明します。
SDGｓを初めて学ぶ方、基礎の情報を得たい方向けとなります。
ワークショップを増やすなど要望に合わせた内容も可能です。

【SDGs新聞ワークショップ(朝日新聞）】
SDGsの観点で記事を読み、思考を見える化させるワークショップ。
世の中の事象をSDGsで考えて作業をしますので、SDGｓの基礎情報には触れたことがある方が対象となります。
新聞記事に限らず社会での出来事を設定することも可能です。

【連鎖を考えるワークショップ(オリジナル）】
私たちが実際に行っている活動や行動がSDGｓにどのような影響を与えてそれがどう連鎖をしていくかを考えるワークショップ。
さらにポジティブな連鎖はより効果を高める方法、ネガティブな連鎖に対しては防止や弱める対策を考える。
実際の行動を起こしたい方や現状の活動を見直したい方向けのワークショップとなります。

SDGs基礎講座

この講座は一般社団法人シンク・ジ・アースが行う
SDGs for school活動の一環として
SDGs for school 認定エデュケーターが行います。

＜講座内容＞
①アイスブレイク～自己紹介ワーク～
②講師の自己紹介
③「持続不可能性」について（実感、客観データ、写真、最新情報等）
④経済、環境、社会の最新状況（時流）について
⑤SDGsの基本解説（名前、認知度、ランキング）
⑥SDGs決議までの歴史
⑦ワークショップ１　SDGsカードの並べ替え（SDGsカード17枚）
⑧SDGsの解説
→5つのPコンセプト、キーワード、特徴
⑨世界や日本の事例紹介
⑩むすび（話者のメッセージ）　子どもたちの動き、企業活動とSDGs等
⑪ワークショップ２　2030年をどんな未来にしたいか（ワークシート）
⑫補足　SDGsの課題→SDGsの次のゴールへの視点

上記がベーシックな講座内容となり、
所要時間が70～150分。
時間や要望に応じて内容を変更します。

SDGs新聞ワークショップ(朝日新聞)

このワークショップは
SDGs for school
認定エデュケーターが、
朝日新聞社から開催を
認められているワーク
ショップとなります。

＜ワークショップ手順＞

①5分
- 記事を読み込む

②10分
- 17GOALsでどれに関連するか考える
- 目標別に用意した付箋に、「つぶやき」を書いてみる

③25-30分
- グループメンバーと記事に付箋を貼りながら話し合う

④5分
- 総括
- このワークショップの狙い、何が得られたか講師が説明

このワークショップを通して、課題の相関関係や背景の顕在化、また多面的、多角的、時間軸を絡めた考察をすることで、社会課題の洗い出しや複眼的なアプローチへ繋がる効果が期待されます。

連鎖を考えるワークショップ

＜ワークショップ手順＞

◇手順①　５～１０分

テーマとなる行動や活動を決める

◇手順②　２０分

ＳＤＧｓサークルシートを使って

良い影響の連鎖をシートに記入

◇手順③　２０分

ＳＤＧｓサークルシートを使って

悪い影響の連鎖をシートに記入

◇手順④　２０分

良い＆悪い影響を連鎖ツリーにまとめ

また、それに対する対策を意見出し

◇手順⑤　１０分

総括や発表

ワークショップ所要時間は最短で７５～８０分を想定しております。

影響連鎖から対策案の検討まで行うワークショップのため、

実際のＳＤＧｓアクションへ発展させることができます。

そのため、テーマ設定は身近で具体的な行動や活動をお勧めします。

このワークショップは常盤工業オリジナルですが、

ＳＤＧｓ ｆｏｒ ｓｃｈｏｏｌ 認定エデュケーターが行います。

SDGsアクションへの展開

常盤工業では実際の工事にて、お客様、近隣住民、行政と「連鎖を考えるワークショップ」を計画中。対策案など実際の企業活動として行なっていく予定です。
このワークショップ通じでフィールドワークの検討などをお考えの方々とぜひ実際のアクションを起こして、持続可能な社会創生に取組んでいきたいと思います。